

- 畜産経営の体質強化と安定には地域の飼料生産の担い手となるコントラクター組織の育成が不可欠。
- 農業振興事務所経営普及部では酪農組合と連携して既存コントラクター組織の活動体制の強化や新規組織の設立を支援した。
- 既存組織では稲WCSの品質向上と作業体系の効率化により、合計で作業面積48.6ha、5023ロールの生産体制を整備した。
- 新たに2つのコントラクターが組織された。

具体的な成果

1 既存コントラクター組織の強化

■稲WCSの品質向上と作業体系の効率化により、作業面積が増加した。

- ①作業面積 46.9ha→48.6ha
- ②ロール数 4,040個→5,023個 (270kg/個)
- ③1組織が法人化(平成29年4月)
(那須烏山農業公社→株式会社アグリ那須烏山)

表 既存コントラクター組織による稲WCS生産の推移

| | | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---------------|----------|-------|-------|-------|-------|
| 卯の花飼料用稲機械利用組合 | 面積 (ha) | 18.1 | 20.7 | 22 | 14.5 |
| | ロール数 (個) | 1,290 | 2,302 | 2,089 | 1,382 |
| 那須烏山市農業公社 | 面積 (ha) | 28.8 | 31.4 | 33.8 | 34.1 |
| | ロール数 (個) | 2,750 | 3,055 | 3,300 | 3,641 |

2 飼料用稲WCSコントラクター組織の新規育成

■コントラクター志向2組織が新組織を設立した。
■組織名「飼料生産組合TPP」(塩谷町)
「OSSK飼料生産組合」(高根沢町)

- ①管内コントラクター数 2→4
- ②新組織作業面積 12ha
- ③新組織ロール数 520個(500kg/個)

普及指導員の活動

平成25～26年度

■既存コントラクター組織卯の花飼料機械利用組合(さくら市)に対して、補助事業を活用し、品質向上への取組に必要な資材の調達、作業体系の整備を支援した。

平成26年度

■既存組織の那須烏山市農業公社と共に耕種農家に対して栽培講習会を実施し、品質向上への意識醸成を図った。
■法人化の支援を行った。

平成27年度

■卯の花飼料機械利用組合に対して、高性能機械導入と法人化の支援を行った。

平成28年度

■新規コントラクター志向組織に対して組織の設立、作業、供給計画の策定を支援。

普及指導員だからできたこと

■専門知識を生かし、稲WCS品質向上のための資材・作業体系を提案した。

■コーディネート機能を生かして、酪農協と連携して新組織設立に向けた支援を行うことができた。

稲WCS生産コントラクター組織の育成

活動期間：平成25～継続中

1. 取組の背景

昨今の購入飼料価格の高騰による生産コストの増大など、畜産を取り巻く環境が厳しさを増していることから、飼料自給率の更なる向上が畜産経営の体質強化と安定には重要となっている。そのためには、地域の飼料生産の担い手となるコントラクター組織の育成が不可欠であり、既存組織の活動体制の強化や新たな組織の設立が必要となっていた。

2. 活動内容（詳細）

(1) 活動対象

コントラクター志向2組織（塩谷町、高根沢町）、既存コントラクター2組織《卯の花飼料用稲機械利用組合、那須烏山市農業公社》

(2) 指導・支援の体制

普及計画の戦略課題「飼料用米・飼料用稲の生産拡大と流通体制整備による耕畜連携の強化」と「畜産の生産性向上自給飼料生産の拡大」に位置づけ、農畜産課の畜産担当と農産担当及び酪農組合が連携して指導支援を行った。

(3) 活動経過

ア 飼料用稲WCSの品質向上支援

既存2組織において、「コントラクター活動支援事業」（実施年度H25、26）の活用により、飼料用稲WCSの品質向上への取組に必要な資材の調達や作業体制の整備等を支援した。また、栽培講習会の開催により、耕種農家側の品質向上への意識醸成を図った。



WCS 用稲栽培講習会

イ 既存コントラクター組織の体制、機能強化支援

さくら市の卯の花飼料用稲機械利用組合については、平成25および26年度に「コントラクター活動支援事業」実施の支援を行い、平成27年度には高性能機械の導入と法人化の支援を行った。那須烏山市農業公社については、平成26年度から「コントラクター活動支援事業」実施の支援を行い、雇用による作業体制の整備による面積の拡大と品質向上の取組を支援した。

ウ 稲WCS生産コントラクター組織の育成支援

塩谷町と高根沢町のコントラクター志向組織に対しては、組織の設立、作業、供給計画の策定を栃木県酪農業協同組合と連携して支援を行った。

3. 具体的な成果（詳細）

(1) 既存コントラクター組織の強化

既存2組織は、飼料用稲WCSの品質向上と作業体制の効率化により、合計で48.6ha、270kg/個×5,023ロール（内広域流通分28ha、270kg/個×2,652ロール）の生産体制を整備した。また、平成29年4月に那須烏山市農業公社の法人化が達成（法人名：株式会社アグリ那須烏山）。

表 既存コントラクター組織による稲WCS生産の推移

| | | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---------------|----------|-------|-------|-------|-------|
| 卯の花飼料用稲機械利用組合 | 面積 (ha) | 18.1 | 20.7 | 22 | 14.5 |
| | ロール数 (個) | 1,290 | 2,302 | 2,089 | 1,382 |
| 那須烏山市農業公社 | 面積 (ha) | 28.8 | 31.4 | 33.8 | 34.1 |
| | ロール数 (個) | 2,750 | 3,055 | 3,300 | 3,641 |

(2) 飼料用稲WCSコントラクター組織の新規育成

塩谷町と高根沢町で、それぞれに新規でコントラクターが組織され、合計で12ha、500kg/個×520ロールの供給計画で活動を開始した。

4. 農家等からの評価・コメント（OSSK 飼料生産組合長黒内智治氏）

今後の地域酪農生産を維持していくためには、コントラクターの必要性を感じており、今回自ら組織を設立することにした。設立にあたり所属酪農組合との連携や事業の活用等で農業振興事務所から支援をもらい、その後の運営も含めてスムーズに行うことができた。

5. 普及指導員のコメント

（塩谷南那須農業振興事務所 主任 大輪真司）

今回のコントラクター組織の立ち上げでは、生産者側にも意欲があり酪農協の協力体制を計画段階から得られたことが大きかった。加えて補助事業の活用により組織設立に伴う負担が軽減され、その後の運営面での支援に力を入れられたことで取組初年度からまとまった成果を得ることができた。

6. 現状・今後の展開等

(1) 既存コントラクター組織の機能強化への継続支援

既存の組織に対しては、組織運営の体制強化に向けた法人化、作業効率の向上や対応作物の範囲を拡大する高性能機械の導入などの支援を行い、更なる機能強化を図っていく。

(2) 新規コントラクター組織の支援

新規2組織については事業計画に沿った活動を支援し、今後の活動に向けた体制の基盤作りを行うとともに、供給量の増加を含む活動範囲の拡大に向けた取組を栃木県酪農業協同組合と連携して支援する。